

ASEAN 大使通信

第 36 回 ASEAN の強さを世界に生かす

2025 年（令和 7 年）11 月 14 日



日 ASEAN シンポジウム
(2025 年 11 月 11 日、於 ERIA、ASEAN 事務局提供)

ASEAN 関連首脳会議が終わり、いよいよ明日に当地を離任します。この ASEAN 大使通信も、今回の第 36 回が最終号になります。

本年の ASEAN プロセスは、先月下旬に首脳会議が終わった後も、閣僚会合をはじめ各種の会合が続いています。クアラルンプールでは 10 月 31 日から 11 月 2 日まで拡大 ASEAN 国防大臣会合が開催され、日本からは小泉進次郎防衛大臣が出席しました。

私自身は離任前の最後の仕事として、ジャカルタジャパンクラブ（JJC）商社グループ主催セミナーでの講演、FPCI・ERIA・JAIF・当代表部共催の日 ASEAN シンポジウムでの挨拶、離任レセプションの開催、そして東アジア首脳会議（EAS）大使級会合への出席と日々慌ただしく過ごしました。

今回の ASEAN 大使通信では、私の最後の仕事をご報告するとともに、「ASEAN の強みを世界に生かす」ことの大切さをお伝えしたいと思います。



日 ASEAN 防衛担当大臣会合
(2025 年 11 月 1 日、於クアラルンプール、ASEAN 事務局提供)

●ADMM プラス・日 ASEAN 防衛担当大臣会合

11 月 1 日、小泉進次郎防衛大臣はクアラルンプールで、第 12 回拡大 ASEAN 国防相会議（ADMM プラス）と日 ASEAN 防衛担当大臣会合に出席しました。さらに、日米、日インドネシア、日韓、日米豪比、日中、日シンガポールの防衛相会談を実施し、地域の安全保障課題等について議論しました。

[ADMM プラス](#)では、参加各国の国防大臣等の間で ADMM プラス 15 周年の振り返りと将来に向けた展望について意見交換が行われました。小泉防衛大臣からは、各国の国防当局に対して、①法の支配を含むルールに基づく国際秩序、②アカウンタビリティ・説明責任、③国際公共財への責任という三つの基本的精神を確認し、それに基づき、①インド太平洋地域を俯瞰し、各国間で運用や共同訓練、人的交流や能力構築支援、装備・技術協力を幾層にも重ねて「相互連結性の重層的な網」をはりめぐらせて、②強固相乗効果を生み出し、地域全体に柔軟で強靱で安定的な秩序をもたらしていくことを強く呼びかけました。

[日 ASEAN 防衛大臣会合](#)では、小泉防衛大臣から、今後の日 ASEAN 防衛協力強化の具体的方向性として、人道支援／災害救援分野（HA/DR）の協力、海洋における協力、非伝統的分野における課題への対処の三点を提示しました。



JJC 商社グループ主催・日 ASEAN セミナー
(2025 年 11 月 6 日、於 JJC 会議室)

●JJC 商社グループ主催・日 ASEAN セミナー

11 月 6 日、ジャカルタジャパンクラブ（JJC）商社グループ主催セミナーに招かれ、『グローバル環境の変化への ASEAN の対応と日本にとっての機会～地経済学的リスクをビジネスに生かす～』をテーマに JJC 会議室で講演を行いました。

今回の講演では、ASEAN 関連首脳会議の主要な成果や注目点、世界経済の不確実性への ASEAN の対応など ASEAN の最新動向を報告した上で、ASEAN と日本の歴史を振り返るとともに将来を展望して、デジタル経済枠組み協定（DEFA）や ASEAN パワーグリッド（APG）など様々なビジネス機会がある旨を説明しました（[プレゼン資料](#)）。質疑応答では、日本と中韓など他の対話国による協力との違い、東ティモールでのビジネス機会、EU と ASEAN の違いといった質問が出されました。

10 月下旬に ASEAN 関連首脳会議が開催された直後で、私が離任する直前に、日本企業の皆さんに対して日 ASEAN 関係の全体像と将来の方向性についてご説明し、意見交換を行う機会が得られたことは大変貴重でした。日 ASEAN ビジネスの一層の強化は、日 ASEAN 双方にメリットをもたらすとともに信頼関係を深化させていくために不可欠です。今回のセミナーを企画・主催した JJC 商社グループ、そして参加いただいた多くの皆さんに対して心より感謝申し上げます。



カオ・キムホン ASEAN 事務総長への離任表敬
(2025 年 11 月 10 日、於 ASEAN 本部事務局、ASEAN 事務局提供)

●カオ・キムホン ASEAN 事務総長への離任表敬と夕食会

11 月 10 日、[カオ・キムホン ASEAN 事務総長への離任表敬](#)を行いました。私からは、2023 年の就任以来、約 3 年間にわたり ASEAN 事務総長として日 ASEAN 関係の強化に尽力されてきたことに、心からの感謝を伝えました。

特に、カオ・キムホン事務総長には重要な行事や会議への出席のために幾度も訪日いただきました。2023 年の日 ASEAN 友好協力 50 周年には、[日 ASEAN ビジネスウィーク](#)、[日 ASEAN 特別法務大臣会合](#)、[日 ASEAN 観光大臣特別対話](#)と[日 ASEAN スマートシティーネットワーク・ハイレベル会合](#)、[日 ASEAN 友好協力 50 周年特別首脳会議](#)の 4 回、2024 年には[日経フォーラム「アジアの未来」](#)、[日 ASEAN 経済共創フォーラム](#)の 2 回、そして本年は[大阪・関西万博開会式](#)に際して訪日しています。大使公邸にも、要人の来訪や訪日フォローアップのために 4 回お招きしました。

同日夜には、[カオ・キムホン事務総長主催の夕食会](#)にお招きいただきました。この 3 年間を振り返りながら、同事務総長が様々な場で考えたことや、任期中に実現したいことなどを伺い、率直な意見交換をすることができました。ご多忙の中、このような機会を設けていただいたことを大変光栄に思います。



日 ASEAN シンポジウム
(2025 年 11 月 12 日、於 ERIA)

●日 ASEAN シンポジウム

11 月 11 日には、ERIA の E-DISC（デジタル変革・持続可能経済センター）で、[日 ASEAN シンポジウム](#)を開催しました。テーマは、「地経学の時代における共創を考える（Co-creation in an era of Geoeconomics）」です。日 ASEAN 友好協力 50 周年に際して、2023 年 2 月に[キックオフシンポジウム](#)、2024 年 2 月に[ラップアップシンポジウム](#)を開催したことを基盤に、今後も時々のテーマに合わせて毎年開催すべく、今回新たな枠組みを立ち上げたものです。

開会セッションでは、私とアラディン・リロ ERIA 専務理事、ジェラード・ホー・シンガポール ASEAN 常駐代表の挨拶に続き、カオ・キムホン ASEAN 事務総長に今回のテーマについての[基調講演](#)をいただきました。

セッション 1 では、2023 年の日 ASEAN 友好協力 50 周年の成果を基盤に、2025 年の ASEAN 共同体ビジョン 2045 の採択を踏まえ、日 ASEAN 共創をどうバージョンアップするか、セッション 2 では、世界経済の不確実性など地経学的課題に対して日 ASEAN 協力をどう活用するか、議論を深めました。

閉会セッションでは、ディノ・パティ・ジャラル FPCI 代表から、私の離任に際しての[FPCI の皆さんからのビデオメッセージ](#)を紹介いただき感動しました。



離任レセプション
(2025 年 11 月 12 日、於ジャカルタ市内ホテル)

●離任レセプション

離任に際しては、多くの ASEAN 加盟国・対話国や日本関係団体から、会食やレセプションにお招きいただきました。特に、11 月 7 日には ASEAN 常駐代表委員会（CPR）を代表して、[対日調整国シンガポールのジェラード常駐代表に公邸でのレセプション](#)を開催いただきました。

私も当地の日 ASEAN 関係者に感謝をお伝えするために、11 月 12 日に市内ホテルで[離任レセプション](#)を開催しました。ASEAN 事務局、ASEAN 加盟国常駐代表部や域外国代表部、ジャカルタジャパンクラブ（JJC）や ASEAN 会の日本企業、国際機関や日本政府関係機関、シンクタンクやメディアなど、多数の日 ASEAN 関係者に参加いただくことができました。

離任の挨拶に際しては、当代表部の[ウェブサイト](#)やソーシャルメディアにも掲載した[ビデオメッセージ](#)を放映し、会場ではこの 3 年間の様々な行事の写真もご紹介して、出席者の皆様との素晴らしい思い出を改めて共有することができました。



EAS 大使級会合

(2025 年 11 月 13 日、於 ASEAN 本部事務局、ASEAN 事務局提供)

●最後の EAS 大使級会合

11 月 13 日には、私にとって ASEAN 関連会合の最後となる、東アジア首脳会議（EAS）大使級会合に出席しました。先月の ASEAN 首脳会議で東ティモールが ASEAN に正式加盟したことを受けて、今回の大使級会合から、東ティモールのナターシャ ASEAN 常駐代表が正式に参加しました。首脳会議のフォローアップに加え、現下の厳しい地域・国際情勢について率直な意見交換を行い、離任に際して各国常駐代表・大使から温かいことばもいただきました。EAS で日本の役割を最後にきちんと果たすことができ、嬉しく思います。

離任に際して最も印象に残ったやりとりは、11 月 11 日の日 ASEAN シンポジウムでの「ASEAN の強さを世界に生かす」との議論です。ASEAN は対話と協力で地域の平和と繁栄を実現してきました。ASEAN と日本が、「Learn together, grow together, lead together!」の精神で、これからさらに発展するよう願っています。私の後任者の[米谷光司新 ASEAN 代表部大使](#)は、11 月 24 日に着任予定です。引き続きご支援、ご協力いただければ幸いです。

ASEAN 代表部大使
紀谷昌彦